



2026年6月30日

ひかり認定こども園 ゆづり保育園

暑さも日に日に増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。梅雨明けの知らせが待ち遠しいですね。ここ数年は毎年のように“猛暑”“酷暑”と呼ばれる夏。暑さ対策も悩ましいものです。先日は水あそびについてのお手紙をお渡ししましたが、例年の暑さを鑑み、今年は少し早めの6月下旬から「水あそびカード」のご提出をお願いしました。まだ梅雨の時期ですので、実際はどのくらい活動ができるかはわかりませんが、お天気や子どもたちの状態をみて実施できるように準備をしていきたいと思います。また、夏本番になると熱中症アラートが発令され、なかなか思うように戸外での活動ができなくなるかもしれません。終わりにについても例年より遅く9月の始めまでとさせていただきます。7月は七夕、夏まつり、水あそびなど、夏ならではの活動を予定しています。そして今年も園の廊下に手作りの笹を飾ります。短冊のご協力をありがとうございました。みんなのお願いごとが届きますように！ この季節、風邪の他にも胃腸炎などが流行っています。お子さんに体調の変化などがありましたら、早めに休養をとっていただき、心身に負担のないようにしていただきたいと思います。園でも集団感染に繋がらないように留意して参ります。



7月の予定



1日(水)2日(木)	身体測定
7日(火)	七夕の会
8日(水)	夏まつり
13日(月)	避難訓練
22日(水)	お誕生会

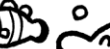
日程変更の際は事前にお知らせいたします。



7月の歌



たなばたさま
トマト みずあそび
おばけなんてないさ



7月生まれのみなさま



お誕生日おめでとうございます！

髪ゴムについてのお願い

飾りのついたものや、ビニール製の小さなゴムは、危険を避けるためご遠慮くださるようお願いいたします。園では午睡時に一旦外し、お昼寝明けに結び直しますが、シンプルに結ばせていただきますので、登園の際と異なることがあります。ご了承ください。

クラスより

1歳うさぎ組

梅雨に入り、すっきりとしない天気が続いている中でも元気に過ごしているうさぎ組さん。お部屋では、友だちに少しずつ興味を持ち始め、友だちの遊びを真似たり、おままごとではお人形に食べさせたり、寝かしつけをして、様々な遊びをする姿が見られました。園庭や砂場では最初は緊張している姿も見られましたが、今では型を使って保育者と一緒にご飯を作ったり、バケツに砂を上手に入れたりして、子ども一人ひとりが様々な遊びを楽しんでいます。7月は七夕や夏まつりなどの行事に加え、水あそびが始まります。行事などを通して夏を感じられるようにしていきたいと思います。体調の変化に気をつけながら、こまめに水分補給を行い、元気に過ごしていきたいと思います。



2歳りす組

バンダナをスカートやマントにしながら、プリンセスやアンパンマンに変身して遊ぶことが最近の流行りのりす組さん。友だちと一緒にブロックで魔法の杖を作ったり、ディズニーの歌を歌いながら室内をお散歩して遊んでいる姿がとても可愛らしいです。変身する姿は食事の場面でも！お友だちが「ラプンツェルのお口で食べる！」と言うと、周りの子たちもプリンセスや働く車になりきって大きなお口を開けて、モリモリ食べています。今月は水あそびをはじめ、夏まつりや七夕といった行事もあるので、季節ならではの遊びをみんなで思い切り楽しんでいきたいと思います。その中で、これからは暑さが増してきて汗をたくさんかくこともあるかと思うので、水分補給や衣服の調節を行い、快適に過ごしていきたいと思います。



エプロン・おしぼりについてのお願い



エプロンやおしぼりにカビが生えているお子さんが見られます。毎日口や手を拭くものですので、清潔を保てるようにカビらしきもの(小さな黒い斑点)がありましたらお取替えをお願いいたします。乾いている時はわかりにくいため、濡れた状態で確認していただくとよいと思います。



ほけんだより

夏のスキンケア、ここをチェック！

夏は湿度が高く、汗でしっとりするため、肌が乾燥しにくい時期です。かさかさしていないので、保湿ケアがおろそかになりがちですが、夏にしっかり保湿することが、冬の乾燥に負けない肌をつくります。

夏こそ保湿！

肌のバリア機能は3歳頃にはだいぶ強くなりますが、子どもの皮膚は大人より薄く、敏感です。夏は、さっぱりとしたローションタイプの保湿剤などを使って、よい状態をキープしましょう。



つめは短く切りましょう

虫刺されなどをかきむしって皮膚を傷つけると、細菌が皮膚に感染して“とびひ”の原因となります。つめは短く切って、角はやすりで丸くしてあげましょう。一週間に一度はつめを見て、こまめに切ってあげましょう。



日焼け止め、虫よけは正しく使って

日焼け止めや虫よけは、かぶれないかどうか、少量試してから使いましょう。虫よけには、揮発成分を含むものがあるので、日焼け止めに塗ってから虫よけを使うとよいでしょう。ただ、日焼け止めも虫よけも肌には刺激になるので、お出かけの際は、薄い長そでをはおらせるなど、肌の露出を避ける工夫も必要です。



夏に多い感染症

ヘルパンギーナ

夏によくかかるウイルス性の夏風邪の一種です。喉の痛みを伴う、39℃以上の高熱が2～4日続きます。喉の奥が赤くなり、小さな水泡や潰瘍が見られるのがこの病気の特徴です。下痢や嘔吐などの症状が出ることもあります。高熱が出るため、脱水症状や熱性痙攣をおこすこともあります。水分補給をしっかり行うことも大切です。症状が軽ければ1～4日くらいで熱は治まります。



手足口病

主に乳幼児の間で流行するウイルス性の夏風邪の一種で、飛沫感染します。手足や口の中に水泡や赤い湿疹が出るのが特徴で、膝やお尻に出ることもあります。水泡の中に最も強いウイルスがあり、潰れるとそこから感染が広がります。症状は3～5日で治まりますが、その後も2～4週間は唾液や便からウイルスが出るため、周囲の人に感染しないように注意しましょう。ウイルス性の風邪のため、抗生物質は無効で、自宅療養での自然治癒を待ちますが、発熱や嘔吐がある場合は症状を緩和する薬が処方されます。



プール熱

夏風邪の一種で感染力が強く、唾液や鼻水、目やに、便などが感染源でプールの中で水を介して感染するケースが多いようです。39℃以上の高熱、喉の痛み、体のだるさ、結膜炎といった症状の他に、頭痛、腹痛、下痢などの症状が出ることもあります。感染した場合は学校保健法により休むことが義務付けられています。症状が治まっても2週間くらいはプールに入るのはやめましょう。プールの前後はしっかりとシャワーを浴び、できればうがいを行うのが一番の予防です。



流行性角結膜炎

アデノウイルスの感染でおこる結膜炎の中でも一番典型的な病気で、1～5歳によく見られます。潜伏期間が8～14日と長く、目の充血、多くの目やに、涙に加え、リンパ節の腫れや痛みなどを伴います。感染力が強いので発症したら医師の指示に従い、許可を得てから登園しましょう。症状は発症してから1週間位がピークですが完治には2～3週間かかります。感染力の強さから、タオル他、顔に触れる物の共有は控えましょう。

夏風邪はどれも特効薬はないといえます。体を休めることが一番の薬だそうです。登園の目安は医師の判断が出た後に、お子さんの全身状態が良好で、食事問題なく摂れること。そして、集団生活に適応できるまでに回復してからということがとても重要です。登園の際は病気の種類によって「登園届」または「意見書」を必ずご持参ください。提出がないとお子さんをお預かりすることができませんので、ご注意ください。

*やむを得ず保育が必要となった場合は、市内病児保育室がご利用できます。

詳細は「病児保育室のご案内」をご覧ください。